

学校だより



# すみきた

第 7 号

令和 7 年 8 月 26 日

大東市立住道北小学校

校長 伊東 敬太

## 2学期 始業式

2学期がはじまり、子どもたちの元気な声が学校にもどってきました。  
厳しいというひと言では言い表せないほどの暑い毎日でしたが、夏休み  
期間中のさまざまな経験を通して、子どもたちは、またひとまわり大きく成長したことに  
思います。



2学期には、1学期にそれぞれの学年・クラスで身につけてきたことをもう一度確かめ  
合いながら、日々の学習や、宿泊学習、音楽会などの学校行事を通して、仲間とともにそ  
れぞれの力をさらに高めていって欲しいと思います。

保護者並びに地域の皆様には、2学期も引き続き学校教育活動へのさらなるご支援と  
ご協力を、どうぞよろしくお願い申し上げます。



### 小さなことから チャレンジしよう

「お家の人からやるように言われていることや、先生から必ずするようにと言わ  
れた課題をしっかりとすることは大事。そのうえで、そのことに何か一つプラス  
をして自分でやってみようと思ったことをする、そのことが自分の力を伸ばすこ  
とにつながる。」ということを1学期の終業式で子どもたちに話をしました。

このことは何も夏休みに限ったことではありません。日々の家でのお手伝い、  
先生から出された宿題、それに何か自分で考えて、プラスして進んで取り組んで  
みるのが大切です。言われたことを仕方なくする受け身ではなく、小さなこと  
でも自分で考えて決めて、自らチャレンジしようとする姿勢が、  
きっと大きな成長につながります。



## ～ 生活のリズムをととのえよう ～

夏休み期間中は、夜に寝る時間や朝起きる時間が遅くなったり、テレビやスマホを見る時間、ゲームをする時間が長くなったり、少し生活リズムが乱れてしまった人もいるのではないのでしょうか。

2学期がはじまり、まだまだ残暑も厳しい中、学習やさまざまな学校行事を、楽しく実り多いものにしていくためには、何よりも体のコンディションをととのえることが大切です。そして、このことは熱中症の予防にもつながります。

『早寝・早起き・朝ごはん』の習慣を、今一度、しっかりと確かめましょう。



## ◇ 防災意識を高める

9月1日は「防災の日」です。今から100年ほど前の1923年9月1日に起きた関東大震災は、死者・行方不明者が10万人を超える大災害でした。また、1995年には阪神淡路大震災、2011年には東日本大震災が発生し、いずれも甚大な被害となりました。

今年の夏休み中の7月30日には日本の近海で大きな地震があり、それに伴い多くの地域で「津波警報」が出されました。

地震はいつ起きるか分からないと言われるように、学校にいる時、登下校している時、友だちと遊んでいる時、家にひとりでいる時・・・あらゆる想定が考えられます。

「大東市学校園防災マニュアル」では、児童の登校後に「震度5弱」以上の地震が発生した場合には、原則として保護者の方に来校いただき、児童を引き渡すこととなります。そのような状況を想定し、6月には授業参観終了後に、災害時を想定した保護者への児童引き渡し訓練を実施しました。普段から時おりご家庭でも、連絡や避難について話題にしていいただければと思います。



☆大東市立小中学校のホームページがリニューアルされました。

住道北小学校 HP の URL は [https://ed.city.daito.osaka.jp/sumin\\_es](https://ed.city.daito.osaka.jp/sumin_es) です。

(今年度中は従来の URL からアクセスが可能です。)

ぜひご覧ください。